

持久力武器 10代の挑戦

本格的に競技を始めてから、わずか5年で五輪にたどり着いた。自転車トラック種目で女子4000メートル団体追い抜き(4人)とマディソン(2人)に出場する垣田真穂。「オリンピック

自転車

垣田 真穂(19)

出場は小さい頃からの夢。本番が楽しみ」と待ちわびる。

松山学院高時代は持久力を生かし、国内タイトルを多数獲得。高校在学中から団体追い抜きの日本代表メ

ンバーとして、国際大会で経験を積んだ。

今年2月のアジア選手権で優勝。3月のネーションズカップ第2戦では史上初の銅メダルに輝き、日本の五輪出場枠獲得に大きく貢献した。

パリでの目標はマディソンが表彰台、団体追い抜きは8位以内。10代で挑む大舞台に向け「持久力やスプリント力を伸ばしていきたい」と気持ちを高ぶらせる。



持久力を武器にチームを引っ張る垣田真穂
 3月、静岡県伊豆市の伊豆ペロドローム

垣田 真穂(かきた・まほ)
 2004年北九州市生まれ。マディソンでは内野艶和(日本競輪選手会)とペアを組み、23年9月の杭州アジア大会、24年2月のアジア選手権でいずれも優勝。167センチ